

事業所名

ウィズキャリアサポートセンター

支援プログラム

作成日

令和6年

2月

日

法人（事業所）理念		「ともにいきる」 ・地域の中で「はたらく」を通して、その人なりの生活を営み、共に生きる社会を目指していくために、幼児期から成人期まで、ライフステージを通して切れ目のない支援を提供していきます。		
支援方針		「大人になったらはたらこう」の理念のもと、将来自信を持って社会人になることを目指します。そのために、学齢期の自信をもとに自己理解を深め、一人ひとりの自己表現に向けて自己決定ができるよう、キャリア発達支援をしていきます。		
営業時間		9時00分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	講座の中で、日常生活の中で起こりうることを想定した事例を使い、基本的な生活習慣の確立や生活リズムの改善を図ります。 また、ご本人・ご家族からも困り感等を聞き、具体的な対応について検討していきます。		
	運動・感覚	体育館、公園等では体を動かすプログラムを実施し、楽しみながら運動を行います。 センター内においても、室内レクリエーションを実施し、指先の動きが力加減等を学びます。		
	認知・行動	レクリエーションの中に色や形、必要な情報を得る等の認知を高める内容を組み込みます。 また、コミュニケーション講座において、必要な情報の処理ができるようにワークシートを使用し、ポイントを見つける力をつける支援を行います。		
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション講座やSSTの中で、場面や状況に応じた対応について学び、社会体験の中で実際に行うことで力をつけていきます。 レクリエーションでは、集団での活動を行い、チームメイトとの意思疎通をすることで伝える力、聞く力を養います。		
	人間関係 社会性	「お互いに気持ちよく生活するためには」をコンセプトに、集団活動や社会見学、職場体験を通して実践的に学びます。 集団活動においては遊びの中にルールを設け、感情のコントロールを含め、お互いに楽しく参加することを学びます。		
家族支援		・子どもに関する情報提供と定期的な支援調整。 ・家庭での親子関係、兄弟関係や生活上での課題の聞き取りや助言。 ・関係機関との連携と支援体制の構築。 ・相談支援専門員と連携し、個別支援計画の作成や課題、可能性の共有。 ・必要に応じて面談の実施。	移行支援	・年齢や個々の能力に応じた将来を見据えた支援。 ・移行先と連携し支援方針の共有と状態や保護者の意向の伝達。 ・進路や移行先選択に関する相談援助。 ・移行後の支援内容についての共有、助言。 ・同年代の子どもと関わる機会の提供。
地域支援・地域連携		・学校や他教育機関、医療機関、児童相談所、他事業所等との連携。 ・個別のケース検討の為に会議への出席。 ・自立支援協議会、長野市南部事業所懇談会への参加。	職員の質の向上	・定期的な内部研修(救急、衛生、防犯、虐待) ・事故報告やヒヤリハットを共有し、再発防止に努める。 ・必要に応じて外部研修への参加。 ・定期的にミーティングを開催し、活動の計画や見直し、情報共有、個別のケース検討の実施。
主な行事等		〇コミュニケーション講座 〇ビジネスマナー講座 〇会社見学・企業体験実習 〇レクリエーション 〇社会体験(買い物・調理活動等)		